



# 大野やすし市政報告



〒343-0806 越谷市宮本町 1-94-3 電話/FAX 048-940-0155

携帯 080-3300-8100 アドレス [y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp](mailto:y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp)

4/6 出羽チューリップフェスタ！

私のFB、ツイッター、アメブロあります。探してみてください。

市議会のHPで様子が、映像で確認できます。



越谷段難と越ヶ谷宿の  
ひなめぐり

2/24～3/18 まで行われた越谷市 3 月定例会は最終日に越谷市議会史上最大の賛否 36 件の討論が行われ、今後の市政を問う激しい展開となりました。

提出された議案は 38 件で、私は、中核市指定の申出、77 歳 2 万円の敬老祝金を突如廃止する条例改正は反対。予算特別委員会委員として参加した一般会計予算は①(仮称)第三庁舎建設事業②保健所設置を除く中核市関連予算③突如廃止される 77 歳 2 万円の敬老祝金の 3 点を理由に反対しました。また、請願は 4 件提出され、『辻浩司議員に反省を求める決議』について撤回を求める件については賛成。市議会では 36 年ぶり 2 回目の懲罰動議「佐々木浩議員に対する懲罰動議」についても賛成しました。

概要と私の見解は以下のとおりです。市民のみなさんが感じる、市政についてのご意見・ご要望、遠慮なく、私にお聞かせください。



## 中核市指定の申出

・概要 →平成 27 年 4 月から中核市に移行するために、地方自治法に基づき市が中核市指定に係る申出を行うため、市議会に議案を提出。中核市になると、県から 2,035 項目の事務権限の移譲を受ける。主な事務権限は保健所の設置、産業廃棄物行政、教職員の研修などである。なお、必要な財源は交付税などで措置される。また、人員は県職員が 18 名削減されるが、市職員は 69 名増加する。

・賛成多数で可決、6 月に県に同意を求め、秋には閣議決定を目指す。

・私は、以下の 3 点などからしっかり戦略を立てて堂々と中核市になるべきと反対討論しました。

- ① 保健所行政など危機管理に関する権限が移譲されるが昨年の想定外の竜巻や台風への市の対応をみると、権限を使いこなして市民を守る覚悟が不十分であること
- ② 中核市移行後、他の中核市に侮られないだけの自治体を創るビジョンが見えないこと
- ③ 他の中核市に比べて弱い財政力を克服する方策が見えないこと



## 満 77 歳 2 万円の敬老祝金を突如廃止する条例改正

・概要 →満 77 歳 2 万円、満 88 歳 3 万円、満 99 歳 5 万円及び満 100 歳 7 万円支給の敬老祝金のうち、満 77 歳は平均寿命以下であることなどから、祝金 2 万円の廃止を提案。

・当会派他 10 数名が反対したが賛成多数で可決→26 年度から廃止

・私は反対。今回の廃止は市が 2 年も検討していたのに高齢者関係団体とは全く事前調整をしてないため、手続に問題ありです。廃止するにも経過措置などで丁寧に対応すべきです。

## 平成 26 年度当初予算



(仮称)市役所第三庁舎



第三庁舎建設予定地

### ・概要

一般会計	862 億円	(対前年度比 3.4%)
特別会計	636 億 1,700 万円	(対前年度比 3.4%)
病院事業会計	120 億 1,100 万円	(対前年度比 3.9%)
総額	1,618 億 2,800 万円	(対前年度比 3.4%)



### ・賛成多数で可決

・私は、前述 3 点の理由で反対しました。特に(仮称)第三庁舎建設事業(予算 12 億 9030 万円)については①中核市移行のため緊急に整備が必要とされたにもかかわらず中核市関連面積は 70 m<sup>2</sup>②本庁舎は市民参加の審議会にかけますが第三庁舎は職員用庁舎だからという理由で審議会にはかけないで建設③水郷こしがやの象徴の場所だが景観への配慮に欠けるなど、内容、手続ともに今の市政を象徴する事業なので反対しました。

## 「辻浩司議員に反省を求める決議」について撤回を求める件(請願)



越ヶ谷宿の蔵の曳家

・概要→昨年 12 月定例会で可決された「辻浩司議員に反省を求める決議」は、表現の自由を縛る内容であり、市議会として撤回の意思表示を採択してほしい。

・賛成少数で否決→私は賛成。辻議員は「国会で審議中だから意見書は出せない」などの主張に対して不当だと主張しているのであって、議運で不一致だったことを不当といているわけではない。3700 名を超える署名は政策の当否に基づくことを多数側が議決して反省を求めては多数派の横暴として多くの市民の支持を得られないことを示している。越谷で保守派が真の勝利を得るため自重してほしい。



## 「佐々木浩議員に対する懲罰動議」



野島地蔵尊の大鯛口



鴨ねぎ鍋 旨い!

・概要→3 月 3 日の本会議、佐々木議員は質疑において江原議員の年齢に言及し、江原議員は不必要に女性の年齢に言及し侮辱と感じた。会議終了後、佐々木議員に発言の削除を求めたが拒否され、会派代表にも申し入れたが回答がなく、陳謝を求めて地方自治法に基づく懲罰動議を提出。

・多くの議員がハラスメントであることは認めるが懲罰は重いとして否決→私は賛成。佐々木議員は弁明の中で、公人の年齢は公表されており発言はハラスメントに当たらないと主張しているが、ハラスメントは当人の感じ方であり、嫌がっていたら避け、関係が微妙な相手ほど気を使うべき。公人こそ範を示してほしい。



### 大野やすしの3つの主張

「マイ・ホームタウン越谷」の実現に向けて

- 誇りを持てるまち越谷を築く
- しぶとい日本人の再生を目指す
- 簡素で効率的な行政体制を創りあげる

### 経験から取組む5施策

- 1 子ども・教育施策の推進
- 2 まちづくり・経済産業施策の展開
- 3 危機管理施策の強化
- 4 観光を通じた伝統・文化の活性化
- 5 行財政改革の徹底

### 経歴

S38 年 宮本町生まれ、越ヶ谷小、中央中、越高、明大政経学部卒、s62~  
H23 東京都(建設、行革、防災等)  
元越ヶ谷高校同窓会副会長  
H23.4 越谷市議初当選

### 家族

父、母、妻、3 男 1 女の 8 人家族